

令和 8 年 度

東松山市下水道事業会計予算書

令和8年度東松山市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度東松山市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| (1) 水洗化戸数 | 24,600 戸 |
| (2) 年間有収水量 | 6,529,000 m ³ |
| (3) 一日平均有収水量 | 17,888 m ³ |
| (4) 主要な建設改良事業 | |
| 管渠整備事業 | 1,575,700 千円 |
| 処理場等整備事業 | 1,117,800 千円 |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収		入
第1款	下水道事業収益	2,990,799 千円
第1項	営業収益	1,892,272 千円
第2項	営業外収益	1,098,507 千円
第3項	特別利益	20 千円
支		出
第1款	下水道事業費用	2,816,361 千円
第1項	営業費用	2,691,718 千円
第2項	営業外費用	119,623 千円
第3項	特別損失	20 千円
第4項	予備費	5,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額455,627千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額167,490千円、過年度分損益勘定留保資金268,137千円、減債積立金20,000千円で補てんするものとする。）。

収		入
第1款	資本的収入	2,954,397 千円
第1項	企業債	1,847,600 千円
第2項	固定資産売却代金	10 千円
第3項	負担金	60,036 千円
第4項	国庫補助金	1,037,531 千円
第5項	他会計補助金	4,319 千円
第6項	他会計負担金	4,900 千円
第7項	長期貸付金償還金	1 千円

支		出
第1款	資本的支出	3,410,024千円
第1項	建設改良費	3,045,911千円
第2項	企業債償還金	358,613千円
第3項	長期貸付金	500千円
第4項	予備費	5,000千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	1,847,600	普通貸借又は証券発行	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	本起債については、融通先の融資条件に従う。ただし財政の都合により据置期間を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えすることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、700,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用と営業外費用と特別損失

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 209,331千円

(他会計からの補助金)

第9条 事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、87,045千円である。

令和8年2月20日提出

東松山市長 森田光一

一 令和8年度東松山市下水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収入

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下水道事業収益			2,990,799 ^{千円}	
	1 営業収益		1,892,272	
		1 下水道使用料	1,358,959	下水道使用料
		2 雨水処理負担金	532,955	一般会計負担金
		3 その他営業収益	358	排水設備確認・完了手数料等
	2 営業外収益		1,098,507	
		1 他会計負担金	218	一般会計負担金
		2 他会計補助金	82,726	一般会計補助金
		3 長期前受金戻入	848,794	国庫補助金長期前受金戻入、受益者負担金長期前受金戻入等
		4 国庫補助金	32,450	社会資本整備総合交付金
		5 県補助金	4,450	ネイチャーポジティブ推進事業補助金
		6 雑収益	2,839	下水道占用料等
		7 消費税及び地方消費税還付金	127,030	消費税及び地方消費税還付金
	3 特別利益		20	
		1 固定資産売却益	10	
		2 過年度損益修正益	10	

支出

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下水道事業費用			2,816,361 ^{千円}	
	1 営業費用		2,691,718	
		1 管渠費	117,765	委託料、修繕費、動力費等
		2 ポンプ場費	138,698	委託料、修繕費、動力費等
		3 処理場費	899,239	職員給与費、委託料、修繕費、動力費等
		4 業務費	103,007	職員給与費、負担金等
		5 総係費	133,028	職員給与費、委託料、負担金等
		6 減価償却費	1,298,971	固定資産減価償却費
		7 資産減耗費	1,000	固定資産除却費
		8 その他営業費用	10	雑支出
	2 営業外費用		119,623	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	119,513	企業債利息
		2 雑支出	110	その他雑支出
	3 特別損失		20	
		1 固定資産売却損	10	
		2 過年度損益修正損	10	
	4 予備費		5,000	
		1 予備費	5,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本の収入			2,954,397 ^{千円}	
	1 企 業 債		1,847,600	
		1 企 業 債	1,847,600	公共下水道事業債
	2 固 定 資 産 売 却 代 金		10	
		1 固 定 資 産 売 却 代 金	10	
	3 負 担 金		60,036	
		1 負 担 金	60,036	下水道事業受益者負担金
	4 国庫補助金		1,037,531	
		1 国 庫 補 助 金	1,037,531	社会資本整備総合交付金
	5 他会計補助金		4,319	
		1 他 会 計 補 助 金	4,319	一般会計補助金
	6 他会計負担金		4,900	
		1 他 会 計 負 担 金	4,900	他会計負担金
	7 長 期 貸 付 金 償 還 金		1	
		1 貸 付 金 元 金 収 入	1	水洗便所改造資金貸付金元金収入

支 出

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本の支出			3,410,024 ^{千円}	
	1 建設改良費		3,045,911	
		1 事 務 費	304,460	職員給与費、委託料等
		2 管 渠 費	1,722,800	工事請負費
		3 処 理 場 費	1,016,000	委託料、工事請負費
		4 工 具 器 具 及 び 備 品	2,651	工具器具及び備品
	2 企業債償還金		358,613	
		1 企 業 債 償 還 金	358,613	企業債償還金
	3 長期貸付金		500	
		1 長 期 貸 付 金	500	水洗便所改造資金貸付金
	4 予 備 費		5,000	
		1 予 備 費	5,000	

二 令和8年度東松山市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益 (△は損失)	6,948,000
減価償却費	1,298,971,000
固定資産除却費	1,000,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	439,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	945,000
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	417,000
長期前受金戻入額	△ 848,794,000
支払利息及び企業債取扱諸費	119,513,000
未収金の増減額 (△は増加)	△ 55,897,000
未払金の増減額 (△は減少)	131,444,000
特定収入に係る消費税相当調整額	△ 100,796,000
小計	554,190,000
利息の支払額	△ 119,513,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	434,677,000
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 2,782,624,000
有形固定資産の売却による収入	9,000
国庫補助金等による収入	1,037,531,000
一般会計からの繰入金による収入	4,319,000
他会計からの負担金による収入	4,900,000
負担金による収入	60,036,000
貸付による支出	△ 500,000
貸付償還による収入	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,676,328,000
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,847,600,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 358,613,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,488,987,000
資金増加額 (又は減少額)	247,336,000
資金期首残高	176,015,127
資金期末残高	423,351,127

三 給 与 費 明 細 書

1 総 括

区 分	職員数		給 与 費				法 定 福 利 費	合 計
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
本年度	9	22	115	89,281	76,594	165,990	43,341	209,331
前年度	9	(1) 21	115	80,582	67,232	147,929	37,710	185,639
比 較	0	(△ 1) 1	0	8,699	9,362	18,061	5,631	23,692

※全て会計年度任用職員以外の職員
() 内は短時間勤務職員 (外書き)

手当の内訳	区 分	扶養手当 (千円)	管理職手当 (千円)	地域手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	住居手当 (千円)
	本年度		3,888	2,820	9,600	23,587	18,955
前年度		3,012	2,088	9,427	19,921	16,004	1,260
比 較		876	732	173	3,666	2,951	894

手当の内訳	区 分	時 間 外 勤 務 手 当 (千円)	休日給 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)	宿日直手当 (千円)	管理職員特別 勤 務 手 当 (千円)
	本年度		13,674	400	1,408	12	0
前年度		13,791	400	1,250	13	0	66
比 較		△ 117	0	158	△ 1	0	30

2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増 減 額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説 明	備 考
給 料	8,699	給与改定に 伴う 増 減 分	2,868		
		昇給に伴う 増 加 分	1,103		
		そ の 他 の 増 減 分	4,728		職員数の異動状況 (現に在職する職員数) 21人 (0人) (退職等予定職員数) 0人 (0人) (採用等予定職員数) 1人 (0人) 計 22人 (0人) ※()内は短時間勤務職員(外書き)
手 当	9,362	制度改正に 伴う増減分	△ 150	扶養手当 198 地域手当 △959 期末手当 228 勤勉手当 219 通勤手当 164	
		そ の 他 の 増 減 分	9,512		

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		事 務、技 術 (企 業 職)
令和8年1月1日現在	平均給料月額 (円)	328,200
	平均給与月額 (円)	397,270
	平均年齢 (歳)	40.3
令和7年1月1日現在	平均給料月額 (円)	317,089
	平均給与月額 (円)	386,080
	平均年齢 (歳)	40.6

(2) 初任給

区 分	企 業 職 (円)	一般会計の制度
		行政職 (円)
高 校 卒	206,700	206,700
短 大 卒	222,600	222,600
大 学 卒	237,600	237,600

(3) 級別職員数

区 分	企 業 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)
令和 8年 1月1日現在	8		
	7		
	6	2	9.5
	5	2	9.5
	4	6	28.6
	3	9	42.8
	2	1	4.8
	1	1	4.8
	計	21	100.0
令和 7年 1月1日現在	8		
	7		
	6	2	11.1
	5	2	11.1
	4	4	22.2
	3	7	38.9
	2	2	11.1
	1	1	5.6
	計	18	100.0

(級別の基準となる職務)

区 分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
職	部 長	次 長	課 長	副 課 長	主 査	主 任	主 事	主 事 補

(4) 昇給

区 分		企 業 職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	22	
	昇 給 に 係 る 職 員 数 (B) (人)	22	
	号 級 数 別 内 訳	2号級 (人)	1
		3号級 (人)	
		4号級 (人)	21
		6号級 (人)	
		8号級 (人)	
比 率 (B) / (A) (%)	100.0		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	21	
	昇 給 に 係 る 職 員 数 (B) (人)	18	
	号 級 数 別 内 訳	2号級 (人)	
		3号級 (人)	
		4号級 (人)	18
		6号級 (人)	
		8号級 (人)	
比 率 (B) / (A) (%)	85.7		

(5) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種
給料総額に対する比率 (%)	0.01
支給対象職員の比率 (%) (令和8年1月1日現在)	81.0
代表的な特殊勤務手当の名称	・ 災害等従事手当

(6) 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、 職務の級等による 加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	(1.225)	(1.225)	(2.450)	有	(定年前再任用 短時間勤務職員)
	2.325	2.325	4.650		
前 年 度	(1.200)	(1.200)	(2.400)	有	(定年前再任用 短時間勤務職員)
	2.300	2.300	4.600		
一般会計の制度	(1.225)	(1.225)	(2.450)	有	(定年前再任用 短時間勤務職員)
	2.325	2.325	4.650		

(7) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区 分	20年勤続 の者 (月分)	25年勤続 の者 (月分)	35年勤続 の者 (月分)	最高限度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (3%~45%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (3%~45%加算)	

(8) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同
扶 養 手 当	同 じ
地 域 手 当	〃
住 居 手 当	〃
通 勤 手 当	〃

四 債務負担行為に関する調書

事 項	限 度 額	前 年 度 末 ま で の 支 払 義 務 発 生 (見 込) 額		当 該 年 度 以 降 の 支 払 義 務 発 生 予 定 額		左の財源内訳		
		期 間	金 額	期 間	金 額	国 支 出 金	企 業 債	損 益 勘 定 留 保 資 金
市野川浄化センター 塩素消毒設備等 更新事業	千円 847,200	年度 6~7	千円 316,600	年度 8	千円 530,600	千円 259,930	千円 270,600	千円 70

五 令和8年度東松山市下水道事業予定貸借対照表
(令和9年3月31日)

		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固定資産				
(1)	有形固定資産				
	イ 土地		5,240,631,003		
	ロ 建物	2,457,169,586			
	減価償却累計額	<u>△ 963,339,905</u>	1,493,829,681		
	ハ 構築物	24,785,191,284			
	減価償却累計額	<u>△ 6,135,600,564</u>	18,649,590,720		
	ニ 機械及び装置	7,148,385,535			
	減価償却累計額	<u>△ 2,560,319,608</u>	4,588,065,927		
	ホ 車両及び運搬具		758,481		
	ヘ 工具器具及び備品	20,874,467			
	減価償却累計額	<u>△ 9,708,205</u>	11,166,262		
	ト 建設仮勘定		<u>305,480,001</u>		
	有形固定資産合計			30,289,522,075	
(2)	無形固定資産				
	イ ソフトウェア		5,171,000		
	ロ 地上権		1,672,000		
	ハ その他無形固定資産		<u>22,500</u>		
	無形固定資産合計			6,865,500	
(3)	投資その他の資産				
	イ 長期貸付金		<u>998,000</u>		
	投資その他の資産合計			<u>998,000</u>	
	固定資産合計				30,297,385,575
2	流動資産				
(1)	現金預金			423,351,127	
(2)	未収金	258,828,000			
	貸倒引当金	<u>△ 1,211,000</u>		<u>257,617,000</u>	
	流動資産合計				<u>680,968,127</u>
	資産合計				<u><u>30,978,353,702</u></u>

負債の部

円

円

円

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に充てるための企業債 8,493,975,888

企業債合計

8,493,975,888

固定負債合計

8,493,975,888

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に充てるための企業債 346,231,891

企業債合計

346,231,891

(2) 未払金

613,811,000

(3) 引当金

イ 賞与引当金 13,868,000

ロ 法定福利費引当金 2,850,000

引当金合計

16,718,000

(4) その他流動負債

851,080

流動負債合計

977,611,971

5 繰延収益

(1) 長期前受金

20,974,397,998

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 6,637,478,632

繰延収益合計

14,336,919,366

負債合計

23,808,507,225

資本の部

6 資本金

3,072,826,183

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 受贈財産評価額 2,218,567,710

ロ 国庫補助金 1,357,869,744

ハ 県補助金 9,499,540

ニ 他会計負担金 215,814,912

ホ その他資本剰余金 139,000,627

資本剰余金合計

3,940,752,533

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金 131,596,761

ロ 当年度未処分利益剰余金 24,671,000

利益剰余金合計

156,267,761

剰余金合計

4,097,020,294

資本合計

7,169,846,477

負債資本合計

30,978,353,702

六 令和7年度東松山市下水道事業会計予定損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	884,931,000		
(2) 雨水処理負担金	413,995,000		
(3) その他営業収益	1,894,000	1,300,820,000	
2 営業費用			
(1) 管渠費	71,946,000		
(2) ポンプ場費	82,220,000		
(3) 処理場費	684,479,000		
(4) 業務費	91,363,000		
(5) 総係費	177,499,000		
(6) 減価償却費	1,260,836,000		
(7) 資産減耗費	1,000,000		
(8) その他営業費用	9,000	2,369,352,000	
営業損失			1,068,532,000
3 営業外収益			
(1) 他会計負担金	462,000		
(2) 他会計補助金	201,686,000		
(3) 長期前受金戻入	844,451,000		
(4) 国庫補助金	55,010,000		
(5) 雑収益	2,639,000	1,104,248,000	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	90,040,000		
(2) 雑支出	22,951,000	112,991,000	991,257,000
経常損失			77,275,000
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	9,000		
(2) 過年度損益修正益	9,000	18,000	
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	10,000		
(2) 過年度損益修正損	10,000	20,000	△ 2,000
7 予備費			
(1) 予備費	5,000,000	5,000,000	△ 5,000,000
当年度純損失			82,277,000
その他未処分利益剰余金変動額			80,000,000
当年度未処理欠損金			2,277,000

七 令和7年度東松山市下水道事業予定貸借対照表
(令和8年3月31日)

		資 産 の 部		円	円
		円	円		
1	固 定 資 産				
(1)	有 形 固 定 資 産				
	イ 土 地		5,240,631,003		
	ロ 建 物	2,457,169,586			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 843,731,905</u>	1,613,437,681		
	ハ 構 築 物	23,021,880,284			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 5,310,351,564</u>	17,711,528,720		
	ニ 機 械 及 び 装 置	5,936,931,535			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 2,210,363,608</u>	3,726,567,927		
	ホ 車 両 及 び 運 搬 具		758,481		
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	18,464,467			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 7,701,205</u>	10,763,262		
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>500,753,001</u>		
	有形固定資産合計			28,804,440,075	
(2)	無 形 固 定 資 産				
	イ ソ フ ト ウ ェ ア		6,904,000		
	ロ 地 上 権		2,090,000		
	ハ その他無形固定資産		<u>22,500</u>		
	無形固定資産合計			9,016,500	
(3)	投 資 そ の 他 の 資 産				
	イ 長 期 貸 付 金		<u>499,000</u>		
	投資その他の資産合計			<u>499,000</u>	
	固 定 資 産 合 計				28,813,955,575
2	流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金			176,015,127	
(2)	未 収 金	202,931,000			
	貸 倒 引 当 金	<u>△ 772,000</u>		<u>202,159,000</u>	
	流 動 資 産 合 計				<u>378,174,127</u>
	資 産 合 計				<u><u>29,192,129,702</u></u>

		負 債 の 部		
		円	円	円
3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
	イ 建設改良等の財源に充てるための企業債	<u>6,996,644,570</u>		
	企 業 債 合 計		<u>6,996,644,570</u>	
	固 定 負 債 合 計			6,996,644,570
4	流 動 負 債			
(1)	企 業 債			
	イ 建設改良等の財源に充てるための企業債	<u>354,576,209</u>		
	企 業 債 合 計		354,576,209	
(2)	未 払 金		482,367,000	
(3)	引 当 金			
	イ 賞与引当金	12,923,000		
	ロ 法定福利費引当金	<u>2,433,000</u>		
	引 当 金 合 計		15,356,000	
(4)	その他流動負債		<u>851,080</u>	
	流 動 負 債 合 計			853,150,289
5	繰 延 収 益			
(1)	長 期 前 受 金		19,968,120,998	
(2)	長期前受金収益化累計額		<u>△ 5,788,684,632</u>	
	繰 延 収 益 合 計			<u>14,179,436,366</u>
	負 債 合 計			22,029,231,225
		資 本 の 部		
6	資 本 金			3,072,826,183
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
	イ 受贈財産評価額	2,218,567,710		
	ロ 国庫補助金	1,357,869,744		
	ハ 県補助金	9,499,540		
	ニ 他会計負担金	215,814,912		
	ホ その他資本剰余金	<u>139,000,627</u>		
	資 本 剰 余 金 合 計		3,940,752,533	
(2)	利 益 剰 余 金			
	イ 減債積立金	151,596,761		
	ロ 当年度未処理欠損金	<u>△ 2,277,000</u>		
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>149,319,761</u>	
	剰 余 金 合 計			<u>4,090,072,294</u>
	資 本 合 計			<u>7,162,898,477</u>
	負 債 資 本 合 計			<u>29,192,129,702</u>

注 記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物	8～50年
構築物	10～50年
機械及び装置	10～50年
車両及び運搬具	4年
工具器具及び備品	3～15年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

ソフトウェア	5年
地上権	5年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

東松山市は、埼玉県市町村総合事務組合に加入しており、下水道事業会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、下水道事業会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、下水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

Ⅱ. 予定貸借対照表関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は5,283,000円である。

2 引当金の取り崩し

- (1) 令和8年6月において、期末手当及び勤勉手当として20,799,000円を支給するため、賞与引当金12,923,000円を取り崩している。
- (2) 令和8年6月において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として4,273,000円を支出するため、法定福利費引当金2,433,000円を取り崩している。
- (3) 令和8年度において、不納欠損処分に係るものとして、貸倒引当金655,000円を取り崩している。